

しあわせ南流

南流山地区社会福祉協議会
広報部会事務局
会長 市川 誠
南流山 8-6-1-1-705
TEL 7140-7152

『いきいきシニアの会』 10月21日(日)に開催

南流山小学校区にお住まいの70歳以上(誕生日が昭和23年4月1日以前)の皆様をご招待し、地域の子ども達やボランティアの皆さんによる演奏や演芸など、そして昼食を楽しんでいただく「いきいきシニアの会」を平成30年10月21日に開催します。ご高齢の皆様の住み慣れた地域での暮らしをサポートする南部地域包括支援センターの出張相談窓口もあります。

招待状は9月下旬よりお届けします。なお、昨年度は会の開催予定日に急に衆議院議員総選挙が実施されることになり、開催日を3ヶ月延期しました。今年は数多く台風が上陸していますが、開催日に悪天候が懸念される場合、中止もありますのでご了承ください。

南流山地区社会福祉協議会主催・流山市後援
第15回いきいきシニアの会

日時：10月21日(日)

午前10時～午後1時

(受付は午前9時30分から)

場所：南流山センター 大ホール(2階)

備考：対象となる方で招待状が届きませんでしたら
当日、受付へお申し出の上、ご参加ください。

南部地域包括支援センター

平成18年4月施行の「[介護保険法](#)」の改正で誕生した地域包括支援センター、流山市に4センターがあり、南流山小学校区は流山市南部地域包括支援センター(流山市ケアセンター2階)が窓口となります。平成27年より『高齢者なんでも相談室』とも呼ばれるようになった地域包括支援センターは保健師や看護師、主任ケアマネジャー、社会福祉士などの専門職で構成され、介護予防プラン作成の手伝い、介護や福祉に関する相談への対応、高齢者を支える地域づくりの推進、成年後見や虐待防止など、高齢者の権利擁護に関する業務を行なっています。様々な相談に対応していますのでご利用ください。

【問合せ先 ☎ 7159-9981】

「ふれあいサロン」のご案内

南流山のボランティア団体『水仙の会』の「ふれあいサロン」が、8月を除く毎月第3月曜日の午前10時30分から午後2時まで南流山自治会館で開催されてい

ます。この会にご高齢の皆様に体操、歌、カラオケ、ゲーム、会食などで楽しい時間を過ごしていただけます。昼食として300円(7月の暑気払いと12月のクリスマスは500円)を参加費としていただいています。

事前申込みは不要ですのでお気軽にご参加ください。

南流山自治会は第1、第2、第4月曜日の午前10時30分から午後4時まで南流山自治会館の開放日とし、地域の皆さんにお気軽にお立ち寄りいただけるようにしています。こちらでもご利用ください。

「南流山ひまわり会」のご案内

民生委員、地域のボランティアのメンバーを中心に平成20年に発足のボランティア組織『南流山ひまわり会』(市民登録団体)の協力で、当地区社協は「流山市高齢者セーフティネット活動支援事業」(平成27年度に「流山市独居高齢者等の訪問活動支援事業」から改正・改称)に取り組んでいます。

この事業は地域でお暮らしの概ね65歳以上の方(夫婦でお暮しでも健康等に不安をお持ちの方を含む)を対象に訪問・見守り等の活動を行うものです。『南流山ひまわり会』は「1. 「お元気いかがい」として玄関先に訪問させていただき、地域との繋がりを支援」、「2. お住まいの外から「見守り」、「3. 困ったことが起きた時の連絡役」の活動をしています。サービスを利用されたい方は、「いきいきシニアの会」の招待状に同封の『南流山ひまわり会』の依頼書に利用したいサービスと必要事項を記入して返信用封筒でご投函ください。

なお、「いきいきシニアの会」の招待状配布は前述のように70歳以上となるため、70歳未満でサービスを利用されたい方は『南流山ひまわり会』(会長 牧野欽治、☎ 090-2557-6538)までご連絡ください。『南流山ひまわり会』への協力のご連絡もお待ちしています。

長寿会、寿楽会のご案内

南流山地区社協の活動する南流山小学校区に長寿会、寿楽会の2つの会があり、地区社協のメンバーとしても活動しています。長寿会は木地区に居住する方、寿楽会はそれ以外の南流山小学校区に居住する方を対象とし、自治会員である必要はありません。長寿会は毎月の食事会等の開催、寿楽会は隔月の懇親会、年2回の旅行会、毎週のグラウンドゴルフ大会、そして清掃奉仕活動などを行っています。これらの会にご関心ある方は当地区社協(☎ 7140-7152)までお問合せください。

300mm 超の雨量に注意を



「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨」の常総市の被害



平成 27 年 9 月 10 日の南流山近くの江戸川の水位

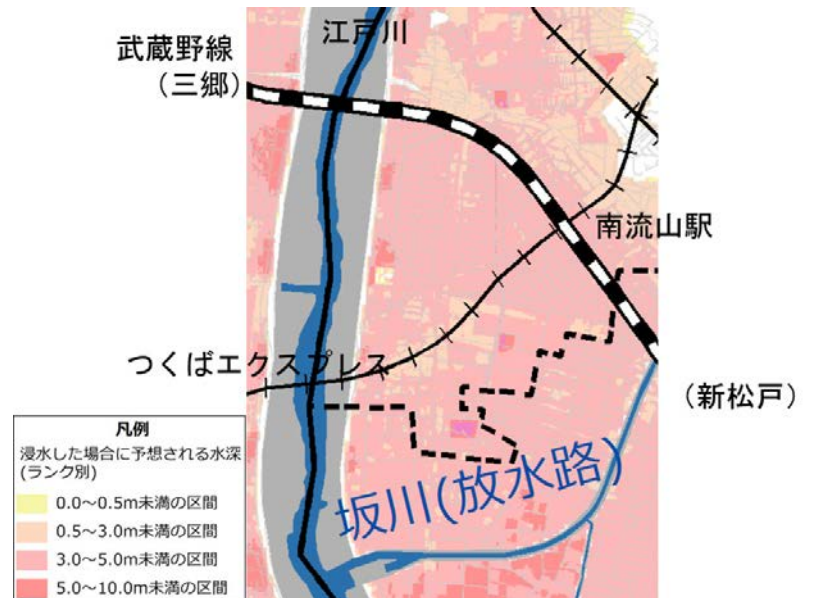
「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」、西日本を中心として河川の氾濫や洪水、土砂災害で多くの被害が発生した「平成 30 年 7 月豪雨」、関西に多大な被害を及ぼした台風 21 号、9 月 6 日に発生した北海道胆振東部地震と各地で災害が続いています。『しあわせ南流』で「豪雨への対応について」(第 63 号)など、災害に関する情報を提供していますが、天災を避けることはできなくても心の準備、災害への備えを一人でも多くの方にいただき、被災者となっても余力を残し、可能な範囲で周囲の方々に助けていただければと願うことによります。

『しあわせ南流』(第 63 号)で内水氾濫(排水能力の不足で生じる洪水)について解説しました。これに対して河川の堤防から越水し、破堤して生じる洪水を外水氾濫といいます。流山では河川として江戸川があり、平成 27 年 9 月 10 日には写真のように高水位となりました。この水位が更に高くなり、越水を生じると水の力は大きく、土が主体の堤防を削って決壊を招きます。

流山市の「流山市洪水ハザードマップ」で南流山を含めて江戸川に隣接する地域で 3.0~5.0m 未満の浸水となることを示しています(国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所が平成 17 年 3 月 28 日公表のデータ)。このシミュレーションは利根川の八斗島(群馬県伊勢崎市)上流域の 72 時間総雨量が 318mm を想定して計算されています(平成 29 年 7 月 20 日に公表の江戸川河川事務所の新たなデータでは 336mm)。

「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨」により常総市で大きな浸水被害が生じました。鬼怒川の堤防の決壊が注目されましたが、9 月 9~10 日に栃木県日光市五十里観測所で 24 時間雨量 551mm という観測史上最多雨量が被害の主要因であることを見逃してはなりません。

今年 7 月 25 日に発生して紀伊半島東側から上陸して中国地方を西に進むという異例のコースをとった台風 12 号は、7 月 26 日の時点で関東甲信・東海地方で多い所で 300~500mm の雨量が予想されていました。仮に関東甲信に上陸し、そのような雨量となった場合、当地域が浸水被害に遭っていた可能性もあります(浸水継続時間は 168 時間(1 週間)とされます)。流山地域で降雨量が少なくても上流の降雨量は異なります。インターネットで公開される八斗島上流域の観測所における雨量等を必ずご確認ください。そして大雨をもたらす台風の場合、洪水の危険があることをご理解ください。



利根川水系江戸川洪水浸水想定区域図(国土交通省)

葛飾区郷土と天文の博物館



京成本線お花茶屋駅から徒歩 8 分の地にある「葛飾区郷土と天文の博物館」(東京都葛飾区白鳥 3-25-1 ☎ 03-3838-1101)は天文展示室と郷土展示室があり、後者では昭和 30 年代の町工場と住宅が再現され、懐かしさを感じる展示が見られます。そして 1947 年 9 月に利根川堤防を決壊させ、東京東部低地まで水没させたカスリーン台風に関する映像を見ることができます。